



2021.11 No.109

きくよう



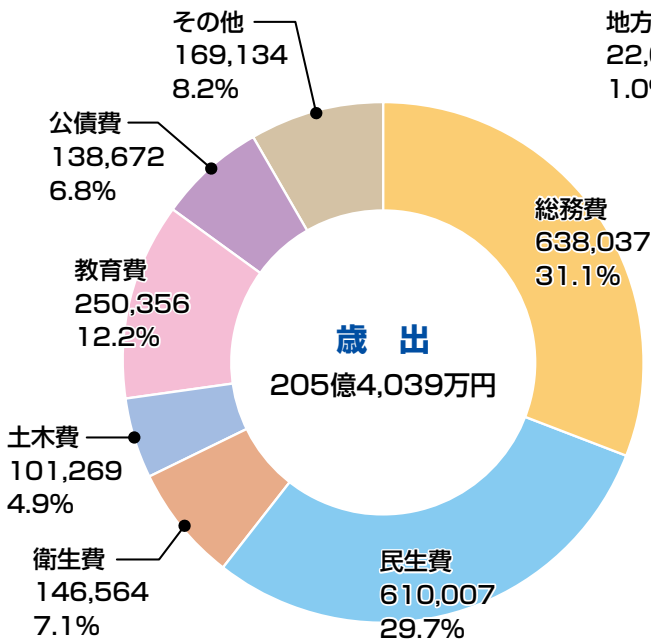
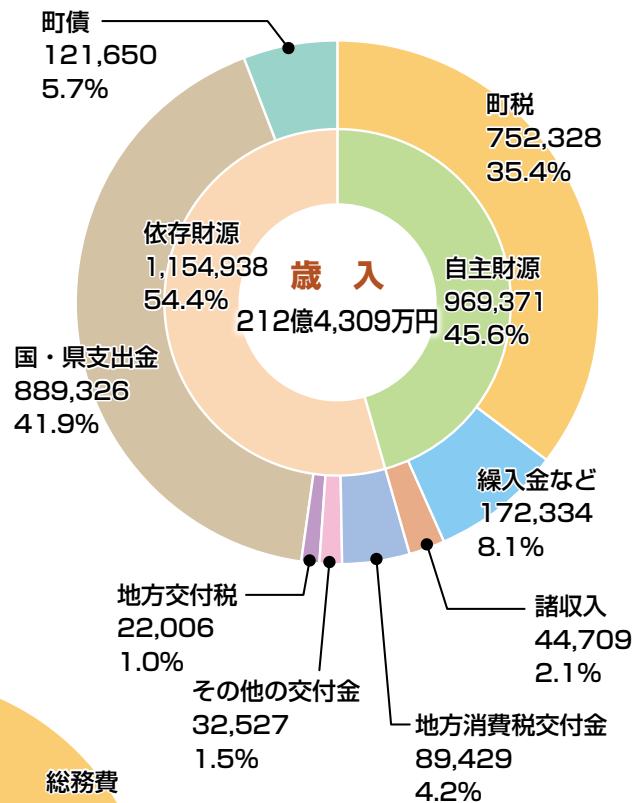
目次	◎表紙	常任委員会報告	P6～7
	令和2年度決算報告	一般質問	P8～11
	9月定例会	Tea Time	P12
	7月臨時会		

全7会計の決算額

		歳入	歳出	差引額
一般会計		212億4,309万円	205億4,039万円	7億 270万円
国民健康保険特別会計		36億3,232万円	36億1,148万円	2,084万円
後期高齢者医療特別会計		4億2,178万円	4億1,028万円	1,150万円
介護保険特別会計		27億 919万円	25億8,354万円	1億2,565万円
土地取得特別会計		7,444万円	7,379万円	65万円
工業団地造成事業特別会計		3億5,920万円	1億3,713万円	2億2,207万円
下水道事業会計	収益的収支	14億4,604万円	13億2,690万円	1億1,914万円
	資本的収支	10億2,432万円	14億2,812万円	▲4億 380万円

一般会計の内訳

(円グラフ単位：万円)



自主財源：自治体の権限で徴収できる財源で、町税、繰入金、繰越金や諸収入で構成されている。

依存財源：国または都道府県からの交付またはその意思決定による財源で、町債、国・県支出金、地方交付税、その他の交付税、地方消費税等。

主な予算の使い方

(仮称)防災センター整備事業：3億5,794万円

町の防災拠点として建設していた防災センターが9月末に完成し、11月から使用開始、昨年度は全体工事費のうち工事前払い金を支払いました。



【災害対策本部】

総合体育館整備事業：4億688万円（総額約40億）

防災避難拠点となる菊陽杉並木公園内に建設する総合体育館は、用地取得、設計、造成工事の一部を実施。令和3年度に新築工事に着工、令和5年6月に工事が完了する予定です。



工業団地造成事業：1億3,713万円

良質な雇用の場の創出、継続した税収の確保、地域経済の活性化など、持続性のある町の発展を目的として、(仮称)第二原水工業団地整備事業に取り組みました。本年8月より12月まで、立地予定企業と土地譲渡契約を前提として無償貸付を行い、整備事業を進めています。



菊陽中体育館空調整備事業：1億1,821万円

災害時の避難所として指定されている菊陽中学校体育館をモデルケースとして防災機能強化と教育環境向上のため、空調設備を整備しました。



空調設備

学校教育の充実：約4億3,000万円

GIGAスクール構想に係る児童生徒一人1台のタブレット端末等と併せて各小・中学校に校内無線ネットワーク環境を整備し、子どもたちの学びの保障ができるようICT教育の充実を図りました。



【タブレットを使った授業風景】

放課後児童健全育成事業：1億4,777万円（総額）

放課後児童クラブの運営をNPO法人に委託し、同事業を実施しました。菊陽南小校区に同事業の一環として学童保育専用施設を新たに整備しました。



【菊陽南小の学童保育施設】

新型コロナウイルス感染症対策事業：47億3,884万円

1. 特別定額給付金事業

一人当たり10万円を給付する特別定額給付金の支払い状況は、42,600人に4億2,600万円を給付し給付率は99.9%となりました。

給付金



2. 新型コロナウイルス感染症対策事業

(町内商工事業者向けの支援)：9,124万円

町内事業者向けに、飲食業・宿泊業支援、新型コロナウイルス感染防止対策、雇用維持、家賃支援、個別相談会事業などを、菊陽町商工会と連携して実施しました。

令和3年9月菊陽町議会定例会

付議事件

- ◇認定第1号 令和2年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第2号 令和2年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第3号 令和2年度菊陽町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第4号 令和2年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第5号 令和2年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇認定第6号 令和2年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇議案第41号 令和2年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定
- ◇議案第42号 令和3年度菊陽町一般会計補正予算（第4号）
- ◇議案第43号 令和3年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第44号 令和3年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第45号 令和3年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第46号 令和3年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇議案第47号 町道路線の認定
- ◇同意第12号 菊陽町教育委員会委員の任命
- ◇報告第9号 令和2年度決算に基づく菊陽町の健全化判断比率及び資金不足比率
- ◇報告第10号 有限会社さんふれあの経営状況
- ◇発議第8号 出産育児一時金の増額を求める意見書（案）
- ◇議長発議 「議会ICT導入推進特別委員会」の設置及び委員の選任

付議事項（追加）

- ◇議案第48号 工事請負契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校拡張工事（校舎））

◇議案第47号
町道の路線の認定

〈内容〉

道路法の規定により町道路線を認定するため。

《Q》 北山正樹議員

行き止まり路線というのは公道としてふさわしくないが、今後菊陽町においては行き止まり道路があちこちにできてしまうのではないかと。

《A》

県の開発許可基準に沿ったルールの中で通り抜け道路への配慮をお願いしている。令和2年12月定例会で北山議員から質問があったが、道路計画が難しい事をクリアできるように認定基準の作成を行っている。

《Q》 北山正樹議員

大津町のように明文化された町開発の基本を菊陽町も制定するべきでは。

《A》

今回のような開発では道路幅員が6メートルで車が転回できる設計の道路は町が帰属を受けている。道理認定をしないままでは、将来様々なトラブルが起これる。菊陽町の場合は先ほどの基準に合うところで引き取っている。

【反対討論】 北山正樹議員

開発により通り抜けられない道路ができるのは、行政としての政策、方向性が示されていないのが原因である。

【賛成討論】 福島知雄議員

本案件は、いわゆる集落地内開発制度に基づき開発された宅地造成行為である。法律手続きをクリアして施行されている。

◇発議第8号

出産育児一時金の増額を求める意見書（案）

提出者 西本友春議員、賛成者3名の議員

〈内容〉

出産にかかる費用は年々増加し、全国平均額は約46万円である。現在の負担に見合う出産一時金の引き上げ実現に取り組むべきである。

全員賛成で可決

◇議案第48号

工事請負契約の締結（武蔵ヶ丘北小学校拡張工事）

〈内容〉

運動場が狭く、駐車場が不足している。校舎増築や給食室新築を見据え、用地の拡張工事をする。

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号	結果	表決数		廣瀬	矢野	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	北山	布田	坂本秀	渡辺	佐藤	甲斐	岩下	小林	福島		
		賛成	反対																			
認定第1号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第4号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第47号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(上記以外の議案等については、全員賛成でした。)

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 ※報告は採決がないため削除しています。

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査

令和3年第1回菊陽町議会臨時会 (令和3年7月30日)

付議事件

- ◇承認第7号 専決処分の承認を求めること (令和3年度菊陽町一般会計補正予算 (第3号))
- ◇報告第6号 専決処分の報告
(工事請負契約の変更 ((仮称) 防災センター新築工事 (建築)))
- ◇報告第7号 専決処分の報告
(工事請負契約の変更 ((仮称) 防災センター新築工事 (電気設備)))
- ◇報告第8号 専決処分の報告
(工事請負契約の変更 ((仮称) 防災センター新築工事 (機械設備)))
- ◇議案第34号 工事請負契約の締結 (菊陽北小学校造成工事 (2))
- ◇議案第35号 工事請負契約の締結 (菊陽北小学校校舎増築工事 (建築))
- ◇議案第36号 財産の取得
- ◇議案第37号 財産の無償貸付
- ◇議案第38号 町道路線の変更
- ◇議案第39号 町道路線の認定
- ◇議案第40号 熊本県市町村総合事務組合理約の一部変更
- ◇同意第11号 副町長の選任

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号	結果	表決数		廣瀬	矢野	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	北山	布田	坂本秀	渡辺	佐藤	甲斐	岩下	小林	福島	
		賛成	反対																		
同意第11号	同意	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

(上記以外の議案等については、全員賛成でした。)

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 ※報告は採決がないため削除しています。

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査

付託案件を慎重審議

常任委員会報告



- 総務常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 文教厚生常任委員会



中岡 敏博



布田 悟



委員長
佐々木理美子



那須真理子



北山 正樹



副委員長
大久保 輝

総務常任委員会

総務課

Q テニスコートの補修は、全面的な

A 工事を行う予定はないのか。

2つのコート共、年度ごとに補修を行っている。状況をみながら対応していく。



三里木町民センター テニスコート

令和3年第3回定例会・委員会付託予定表

- ◇ 認定第1号 令和2年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 認定第2号 令和2年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 認定第3号 令和2年度菊陽町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 認定第4号 令和2年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 認定第5号 令和2年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 認定第6号 令和2年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
 - ◇ 議案第41号 令和2年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定
- 全員の賛成で可決

全ての委員会

総務常任委員会

産業建設常任委員会

文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会

Q コミュニティ助成事業の内容は。

A 申請された事業ごとに交付決定される。今回は南方地区の事業が採択された。

Q 産業医の業務内容は。

A 2カ月に一度来庁し、体調不良の職員の定期面談、病院受診後の経過観察、病気休暇から復帰するにあたっての見立てや復帰支援を行っている。

Q 光の森の公民館用地について状況は。

A 光の森1町内から7町内については、町が公民館用地を確保している。今のところ、公民館を建てたいとの相談はない。

会計課

Q コンビニ収納手数料の件数は。

A 3万7670件である。

財政課

Q コロナの影響により町債を借り入れたがその内容と償還期限は。

A 減収補填債である。コロナの影響で普通交付税の減額で、借入できるものである。後年度、普通交付税に措置される。償還年数は20年である。

総合政策課

Q ふるさと納税の返礼品を産業の発展のために新たな計画はないか。

A たとえば、スイートコーンの生産は、菊陽町は県下で一位である。町内外の方に知っていただくために返礼品として進めたいと思う。

Q 巡回バスの委託料は1,800万円だが、状況はどうか。また、利用者数はどのくらいか。

A 利用者が少なかつた3路線を廃止し、乗合タクシーを導入した。それ以外については路線の再編を行っている。利用者数は、中央循環線は、令和2年度は4386人、西部線は1万324人である。西部線は一定の利用者があり、多いときは1便当たり26人ほどの利用があった。中央循環線は、乗り継ぎやダイヤが複雑でわかりづらいなどにより利用が少ないのが現状である。



巡回バス キャロッピー号

危機管理防災課

Q 消防団以下の年報酬は。

A 団長13万円、副団長91,000円、分団長69,100円、警防班長39,000円、班長32,000円、団員20,000円である。他に火災、災害、会議、式典、訓練などに参加・出席した場合は、費用弁償を支出している。昨年度は、延べ1245回であった。

産業建設常任委員会



委員長 西本 友春



小林久美子



佐藤 竜巳



副委員長 矢野 厚子



甲斐 榮治

建設課

維持工事は、町道及び里道の維持工事や側溝の老朽化による敷設換え、道路浮体構造物の工事、舗装工事が主なもので、道路改良工事は、拡幅工事や新設の道路整備等を行うものである。

都市計画課

危険ブロック塀等安全確保支援事業補助金は、危険ブロック塀の撤去に対する補助金であり、補助額は20万円が上限となっている。

下水道課

下水道使用料の委託徴収分は、大津菊陽水道企業団から給水を受けている方の下水道使用料を、水道料金と合わ

せて徴収している。直接徴収分は、地下水利用者や大津菊陽水道企業団以外の給水を受けている方の下水道使用料を町が徴収を行っている。

環境生活課

菊池環境工場に移転し、距離が近くなり燃料費は減ったが、回収するごみステーションは年々増加しており、全体的にみると増額になっている。

商工振興課

新型コロナウイルス関連で、飲食店と小売店を対象にしたコロナ対策設備の導入支援については、上限までは自己負担もなく、高く評価いただいたと考えている。

農政課

担い手規模拡大推進事業補助金は、農業委員会を通じた契約が対象で、補助金は契約の初年度に1回だけ交付している。

文教厚生常任委員会



渡辺 裕之



阪本 俊浩

教育委員会

Q 武蔵ヶ丘中学校プール付属棟・部室棟改修工事は具体的にどのような工事か。

A プール付属棟工事は老朽化のろ過器・内部・外壁・屋根の更新及び改修工事である。部室棟は多目的トイレの新設及び内部・外壁屋根の改修工事である。

福祉生活部

Q 町立私立各々の園児1人当たりの町負担額は。

A 町立が約150万円、私立が約30万円である。

Q ファミリーサポートセンター事業の、会員実数は何人か。

A 提供会員が66人、依頼会員545人、両方会員が20人で、合計631人である。

健康保険部

Q 予防接種委託事業の種類と実績は。

A インフルエンザ（65歳以上）6081件、（64歳以下）6437件、成人用肺炎球菌390件他乳幼児予防接種等である。

Q 子ども医療費助成の対象人数は。

A 91,767件である。対前年比より減少している。



阪本 俊浩 武蔵ヶ丘北小学校学童保育施設整備の方向性は …P8

大久保 輝 ワクチン接種に対するリスクについて、告知はどのようになっているのか …P9

廣瀬 英二 老人福祉センターの改修計画は考えているのか …P9

西本 友春 遠隔手話通訳サービス導入の検討結果は …P10

甲斐 榮治 空港アクセス鉄道計画と菊陽空港線延伸事業は進んでいるか …P10

渡辺 裕之 公共施設の包括的管理業務委託を検討すべき …P11

小林久美子 町のコロナ感染者の実態はどうなっているか …P11

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 武蔵ヶ丘北小学校学童保育施設整備の方向性は

A 運動場の整備後、できるだけ早く進めるよう指示する



阪本 俊浩 議員



Q 武蔵ヶ丘北小学校の学童保育施設整備を最優先順位として位置付け、早急な対応をお願いしたいが、町長の考えは。

A 運動場の整備が終われば可能と聞いているので、時機を見ながらきちんと対応する。造成工事が終わったらできるだけ早く着手するよう事務的なところも進めていくよう指示したい。

Q 今回の補正予算に菊陽北小学校の学童保育整備関連の予算が提出されている。いつから建設を始めいつから使用できるようにするのか。

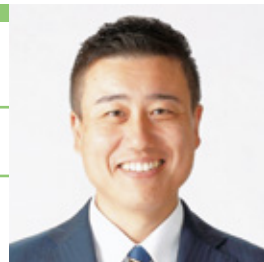
A 令和4年8月をめどに建設に着手し、遅くとも令和5年4月からの開設をめざし取り組む。

Q 来年4月から高校生までの医療費無料化の拡大に向け、財源の確保も必要になる。また、システムの変更や庁舎内の事務処理は、スムーズにおこなわれるのか。

A 12月定例会において関係する条例改正案の承認を経て、来年4月からの実施を目指して準備を進めている。また、来年度当初予算編成時までに見込み額を算出し計上したい。

Q ワクチン接種に対するリスクについて、告知はどのようになっているのか

A 接種券を送付した際に、副反応についての案内チラシ等は全部入れている



大久保 輝 議員



Q 新型コロナウイルスに関して、PCR検査陽性者は感染者という認識か。
A 陽性者イコール感染者とは認識していない。

Q 菊陽町のホームページに感染者と記載してあるが、改めるべきでないか。
A 陽性者が是認感染者になっているのかはわからないが、県が公表する内容に準じている。

Q 現時点で10代で新型コロナウイルスにより亡くなった方はゼロである。副反応により1000件以上の死亡例が報告されているワクチンを10代の子どもたちに早急に接種

を促す必要があるのか。
A あくまでも接種を希望される方に機会が確保できるように予約を開始している。

Q 子どもたちへのワクチン接種は慎重に考えた方がよいのではないか。
A 子どもについても、本人の希望、そして保護者の同意を求めている。確実に希望される方が受けていると考えている。

Q 総合体育館の建設や(仮称)第二原水工業団地に工場棟を建設する計画であるが、今後の渋滞緩和策は。
A ハード面、道路整備関係については、菊陽空港線延伸整備と杉並木公園線の延伸する構想を持っている。ソフト面においては、セミコン通勤バスの運行や各企業の自社出勤などの対策等、関係機関と連携を図りながら、対策の検討を進める。

Q 老人福祉センターの改修計画は考えているのか

A 機能的に使いやすい施設となるよう計画的に改修を進めていく



廣瀬 英二 議員



Q 昭和62年に事業開始した老人福祉センターは、高齢者はもとより広く町民の健康保持増進、教養の向上、各種の相談及びレクリエーションなど健康で明るい生活を営んでもらうための施設として発足したものであるが、現在全く使われていない部屋、将来にわたって使用する見込みがない空き部屋がある。例えば、売店・栄養指導室・男女浴室など。また、娯楽室においては、利用者や高齢者に使いくい和室となっている。改修計画は考えているのか。

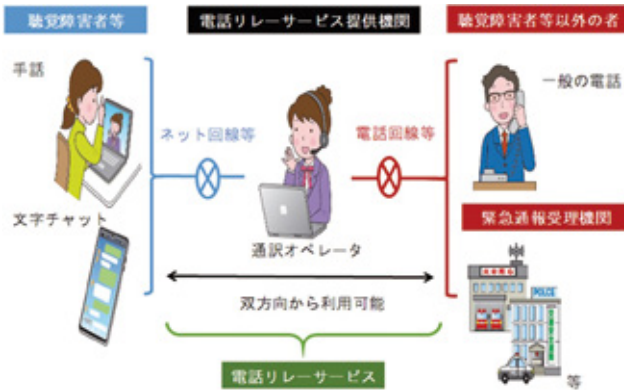
A 機能を廃止した男女浴室などの一部を除き、その他の施設については、各種健診、母子手帳の交付、消費生活相談、各種会議など現在も使用している。改修計画については、施設の長寿命化を図るために、対象施設の劣化調査を実施し、計画的に施設改修を実施している。内部の改修については、避難所として利用している施設の利用状況を考えて、浴室をシャワー室に改修して活用するなど、今後、機能的に使いやすい施設となるように計画的に改修を進めていきたい。

その他の質問

- ・老人福祉センターの名称変更
- ・各種補助団体の交付額見直し
- ・老人クラブ活性化検討委員会設置
- ・町所有バスの有効活用
- ・敬老会年齢の見直し (70歳を75歳に)

Q 遠隔手話通訳サービス導入の検討結果は

A 電話リレーサービスを利用して行う



【参考：法務省のHP掲載のもの】

西本 友春 議員



Q ICTを利用した遠隔手話通訳サービスは、全国で幾つもの自治体が導入し、様々な取組を行っているところがある。電話リレーサービスとは、聴覚や発話に困難のある方と聴覚障害者等以外の人との会話を通訳オペレーターが手話・文字と音声を通訳することによりテレビ電話で双方向につながるサービスで、今年7月1日から開始されました。遠隔手話通訳サービス導入の検討はどこまで進んでいるのか。

A 検討していました遠隔手話通訳サービスの導入に替えて、電話リレーサービスの活用を進めることとし、スマートフォンやタブレット端末等を所持していない聴覚や発話に困難のある方が窓口等に来られた際に電話リレーサービスの利用が円滑にできるよう、窓口用のタブレット端末を導入するなどの環境整備について進めていくところである。

※ 来年度導入とのことだが、タブレット端末等もそんなに高額ではないので、補正を組んで、できるだけ住民に向けたサービスの早期提供開始の取組を要請する。

その他の質問

- ・ 暗所視支援眼鏡の助成上限額について
- ・ 学童保育について
- ・ パートナシップ制度の導入について

Q 空港アクセス鉄道計画は進んでいるか

A 鉄道計画は県の検討委員会で進められている



総合交流ターミナル玄関

甲斐 榮治 議員



Q 空港へのアクセスをはかる鉄道計画と菊陽空港線延伸事業は、県の将来もかかる基盤整備の取り組みである。進捗は。

A 第3回空港アクセス鉄道検討委員会では、事業の社会的意義や効率性を確認する指標が1を上まわり、事業化に適することが報告された。委員からは鉄道整備を後押しする意見や、利用者を増やすために中間駅や空港周辺の開発が必要との意見が多く出された。

A 菊陽空港線を大津植木線まで延長する、都市計画道路の変更が県議会決定された。県と町の担当部分の詳細設計業務に本年6月からとりかかった。令和4年度から用地測量や建物などの補償調査を実施し、用地買収に着手する計画。関係者には丁寧に説明する。

Q 総合交流ターミナルさんふれあの運営・経営は町が意図したように進んでいるか。

A 7月から代表取締役が交代し、支配人・副支配人を配置して新たな体制をつくった。従業員の接客や施設内の雰囲気に変化が見えて、少しづつだが、利用者から好評をいただいている。コロナ禍の中できびしい経営を強いられているが、町が示した改革が進みつつある。

Q 新型コロナウイルスもその感染が問題になってきた。どう対処するか。

A 臨時休校や短縮授業を組み合わせて慎重に新学期に入った。マスクの着用など従来の感染防止対策を徹底させた。感染により登校できないときにはタブレットを活用したオンライン学習支援に努める。マスクが使用しにくい体育の授業は、現在の時数を減らし、年間で調整する。給食は対面を避け、食後の歯磨きも当面は中止する。

教職員に対しては、接種の趣旨を周知させ、希望する職員が接種できるように対応している。

Q 公共施設の包括的管理業務委託を検討すべき

A 公共施設等の設置の趣旨や特性を考慮した上で検討を進めていきたい



渡辺 裕之 議員

Q 「公共施設等総合管理計画」によると更新費用試算として今後40年間で約894億円、年平均22億円かかる。現状と今後の計画は。

A 予防保全型の管理を行うことにより、更新費用の縮減と平準化を図り、本計画に基づき、長寿命化が可能な施設は、設備などの改修を行い、長寿命化を図っている。

Q 公共施設整備基金5億400万円、学校建設基金2億3,900万円、町営住宅建設基金120万円と基金では更新費用が全然足りない。公共施設等適正化管理推進事業債の活用など、今後の財源スキームは。

A 基金は計画的に積立てを行っていきたくと考えている。過去10年間の投資的経費の年間平均は今現在28.8億円となっており、厳しい財政状況

ということではあるが、更新に係る費用の平準化コストの縮減などを図ることによって、財源的には、国庫支出金や地方債などを活用しながら計画的に更新していくは可能だと考えている。

Q 地方債で賄うとなると、公債費比率も含めて菊陽町の財政自体も厳しくなるとことが想定されるが見通しは。

A 公債費比率については、単年度の借入れが大きくなる、またその年度が続けばそういった上昇というのとは考えられるが、長期にわたって財政収支を見ながら、公債費、借入れが多額とならないように、計画的に進めていきたい。



菊陽町公共施設等
総合管理計画概要版

その他の質問

- ・子どもの貧困対策進捗
- ・さんふれあ指定管理者のまちづくり会社化

Q 町のコロナ感染者の実態はどうなっているか

A 町単位で陽性者の詳細を知ることはできない



小林久美子 議員

Q 町の陽性者数、入院者数、ホテル療養者数、自宅療養者数はどうなっているのか。

A 県の発表は、市町村単位に人数のみで内訳は公表されていない。町単位で陽性者の詳細を知ることができない。

Q 町に自宅療養の方がおられるかどうか心配で質問している。原則自宅療養という国の方針の撤回を町としても求めてほしい。

A 国への（方針撤回）の要求は考えていない。

Q 町行政として実態がつかめてなければ、支援のしようがない。情報が把握できない中、町として自宅療養者がいる場合、パルスオキシメーターや食料を届ける準備などはしているのか。家庭内感染が拡大し、子どもの保

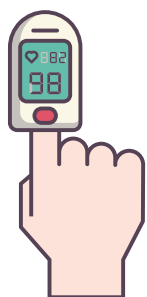
護者や介護を担う方が感染した場合、入院または宿泊療養で隔離されることになるが、その場合の相談は、どこにできるのか。

第5波の終息も見込めない状況だが、町としての相談体制が必要ではないか。報道による町民の不安も大きい。町民の安心のためにも取り組んでほしい。

A 県では、自宅療養者に必要な食料配布とパルスオキシメーターの貸与を行っている。ホテル療養者には、看護師が1日最低2回の健康観察をし、食事の必要があれば県が送ると聞いている。困り事は、社会福祉協議会で対応している。

Q デルタ株感染が子どもたちにも広がっている。文科省からガイドラインも出されているが、学校での感染対策は。

A 学校での対策は、マスク着用・換気・登校前のチェックを行っている。検査対象者については、保健所の指示に従っている。





今年 金婚式を迎えました

光の森 原山敏行さんご夫婦

「好きです。結婚してください。」遠い昔、女の人とドライブに行った時のこと。恐れ多くも阿蘇神社の大神の御前で、熊本城の石垣から飛び降りた気持ちで口走った言葉。女の方はうつむいて「はい」。半年後その石垣の見えるホテルで結婚式を挙げました。昭和46年、24歳と23歳……あれから50年。今年金婚式を迎えました。

この内、前半の約30年間は自衛隊の飛行機のパイロットでした。滑走路をブツ飛ばして雲の上にあがったり、大自然を眼下にするのは痛快でしたが、神のご加護を忘れたころ突然やって来るのが緊急事態。悪天候は強度のストレス。母なる空と地獄なんて五分と五分。家で私のフライトを支える妻にも相当心配をかけましたが、フライトに集中できる環境を作ってくれたおかげで、五体満足な姿でラストフライトの日を迎えることができました。

後半の約20年間は制服から背広に着替えて、水道町にビルのある損害保険会社で働きました。この時期、数年間ですが町内の区長をしました。昼間不在者の多い新興住宅ですのでみんなとの出会いの場の創出と融和、また防災計画の策定に心がけました。この間、多くの方との出会いもあり、得難い経験をさせてもらいました。菊陽町に住んでよかったという実感も覚えました。今は学童の交通安全ボランティア活動をしています。子どもたちに声をかければ明るいあいさつや笑顔が返ってきます。その度に元気をもらっています。

昨年末、晩節を汚すことなく退職しましたが、これまで木鶏となりえた事など一度もなく、ひたすら前向きに、至誠にもとらない様に努めてきただけです。そして気が付けば私も糟糠の妻も立派な白髪頭になっていました。しかし「昔より今が」、「この前よりこの頃の方が」幸せで充実していると感じています。これからも健康で温順高雅な日々を過ごして行きたいと思っています。

取材担当 廣瀬 英二



表紙の紹介



竹馬で楽しく遊ぶみどり保育園の園児たち
社会福祉協議会の呼びかけで立ち上げられた
「男のつどい」のメンバー8人によって手作りされた
竹馬5組とパカポコポコ8組が園に贈呈されました。
早速、運動会で乗りこなすために練習をしています。

編集後記

中岡 敏博

議会だよりに関わり過去2期8年、再び、委員に選任していただきました。

共同作業ですので早く委員会に馴染むよう、また、即戦力になるよう努めます。以前は活発な議論、提案が可能です。他自治体への研修の機会も多く学ぶことがありました。しかし、現在はコロナ禍のため、調査研究方法もICTを活用した、工夫が必要な異なる形式になると思っています。

情報発信ツールは、間違いがない、誤解を招かない、分かりやすいことが重要です。そのために、なにをするべきか、手順を明確にし、限られた時間を有効に、また経験を生かしていければと思います。とにかく、多くの皆さまが手に取り、読みやすい、また、保管してもらえような表紙や図表、文章を委員と意見を交わしながら作成できるように努めていきます。

みなさんの 傍聴を お待ちしております。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

編集者

議長	上田 茂政
委員	西本 友春
副委員長	福島 知雄
委員	布田 悟
委員	中岡 敏博
委員	矢野 厚子
委員	廣瀬 英二

この議会だよりは再生紙を使用しています。